別添１（１）

指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名：　福岡県総合福祉センター、福岡県人権啓発情報センター、福岡県男女共同参画センター（クローバープラザ）

２　指 定 管 理 者 名：　クローバープラザ管理運営共同事業体

３　指　定　期　間：　令和７年４月１日～令和１２年３月３１日

４　施 設 設 置 目 的：　地域福祉の向上、人権意識の高揚、男女共同参画社会の形成を設置目的としている。

５　管理運営についての点検結果（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）

（１）点　検　方　法：　事業報告書、ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果：　別添のとおり

別添１（２）

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	・３センターを同一施設内に設置した複合施設としての特性を最大限に発揮し、各センターとの連携を活かした施設運営に取り組む。 ・事業関係団体や地域との協力、協働の仕組みづくりに取り組む。 ・障がいのある方や高齢者等全ての利用者が安心して施設を利用できるよう、様々なサービスの提供を行うとともに、利用料減免等の施設利用支援を行う。	・３センターの目的（地域福祉の向上、人権意識の高揚、男女共同参画社会の形成）に沿った総合的な学習の機会の提供の場として、一般の来館者向けに福祉や人権に関する施設を案内する施設見学を実施した。 施設見学　R1　87件、2,563人 → R2　13件、362人 → R3　11件、259人 → R4　35件、619人 → R5　45件、994人 → R6　48件、1,192人 → R7　44件、1,046人 ・例年、３センターの協働事業として、「こどもの日イベント」及び「家族の日フェスタ」を開催している。「こどもの日イベント」は、ゴールデンウィーク期間における、こどもとその家族を対象としたプールの無料開放や工作イベント、３センターを回遊するスタンプラリー等を行うものである。また、「家族の日フェスタ」は、福岡県男女共同参画センターが主催する「福岡県ジェンダー平等フォーラムプレイベント」と同時開催とし、こども向け人権啓発アニメの上映会や点字体験等を行うなど、両イベントとも各センターとの連携を活かしたものとなっている。 こどもの日イベント　R1　7,290人 → R2　中止 → R3　中止 → R4　中止　→ R5　6,220人 → R6　7,248人 → R7　13,309名 家族の日フェスタ　R1　4,986人 → R2　中止 → R3　中止 → R4　4,249人 → R5　6,702人 → R6　8,812人 → R7　15,542名 ・認知症普及啓発の取組として、認知症のシンボルカラーにちなみ「オレンジライトアップ」を実施した。また、「福岡県ジェンダー平等フォーラム2025」の関連イベントとして、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなみ「パープルライトアップ」を実施した。 ・福祉、男女共同参画関係の団体には早期予約や利用料金の減免といった施設利用支援を実施し、障がいのある方や高齢者には利用料金の減免制度を適切に運用するなど、クローバープラザの設置目的に沿った利用の促進を図った。
②施設利用及びサービス向上	・各施設の設備や利用実績に応じた効果的な広報を実施する。 ・プール、体育館、グラウンド等を活用した運動指導教室、運動・健康づくりイベントを企画、実施し、サービスの向上を図る。 ・目標来館者数　391,760人 （総合福祉センター　321,499人） （男女共同参画センター　70,261人）	・HPやSNSを活用した情報発信、コミュニティーセンターや医療機関に対するチラシの配布、貸し会議室検索サイトでの情報発信など広報に努め、施設の利用促進に積極的に取り組んでいる。また、３センターの協働事業への参加促進に向けては、春日市と連携し、近隣の幼稚園や保育園等に対しチラシを配布したほか、特別サイトの作成や４市（春日市、大野城市、筑紫野市、太宰府市）への市報掲載依頼等のPR活動を実施した。 ・日々の運動支援の中で、利用者からの意見、要望を反映した運動教室及びイベントを開催した。 種類・実施回数　R1　27種、837回 → R2　18種、594回 → R3　16種、541回 → R4　19種、819回 → R5　24種、837回 → R6　22種、780回 → R7　22種、819回 参加者数　R1　10,541人　→ R2　5,478人　→ R3　6,071人　→ R4　9,268人　→ R5　9,979人　→ R6　9,814人 → R7　10,597人 ・来館者総数は、３センターの協働事業への参加者や貸室利用者数が増えた結果、昨年度よりも増加した。 【来館者数】　R1年度　R2年度　R3年度　R4年度　R5年度　R6年度　R7年度 総合福祉センター　447,622人 → 212,205人 → 185,540人 → 287,422人 → 321,499人 → 340,241人 → 355,172人（対前年度＋4.4%）〈対R1年度-20.7%〉 男女共同参画センター　124,432人 → 42,577人 → 39,169人 → 62,043人 → 70,261人 → 74,593人 → 77,166人（対前年度＋3.4%）〈対R1年度-38.0%〉 小　計　572,054人 → 254,782人 → 224,709人 → 349,465人 → 391,760人 → 414,834人 → 432,338人（対前年度＋4.2%）〈対R1年度-24.4%〉 人権啓発情報センター　29,457人 → 13,778人 → 12,425人 → 18,497人 → 19,928人 → 19,437人 → 21,053人（対前年度＋8.3%）〈対R1年度-28.5%〉 総　計　601,511人 → 268,560人 → 237,134人 → 367,962人 → 411,688人 → 434,271人 → 453,391人（対前年度＋4.4%）〈対R1年度-24.6%〉 ・満足度に関するアンケート調査において、団体利用の約78%が概ね満足しているとの結果であった。（回答数：団体利用37団体（R8年2月～3月調査）） ・施設内に設置している「ご意見箱」等で利用者からの要望を収集し、要望に基づいて施設設備の改善を実施（改善例：ロールスクリーン取替、トレーニング機器修理）
③経営（収支）改善	・利用者の少ない時間帯、時期を対象とした企画により、利用促進を図る。 ・省エネ対策の推進等により、管理運営費の削減を図る。 ・目標利用料収入　60,838千円 （総合福祉センター　52,321千円） （男女共同参画センター　8,517千円）	・利用者の少ない夜間の利用促進を図るため、夜間限定回数券を発行したほか、夜間の時間帯に合わせ運動指導教室を開催した。 19時以降の入場者数　R1　7,525人 → R2　4,605人 → R3　3,460人 → R4　5,471人 → R5　6,905人 → R6 6,637人 → R7 7,339人 ・指定管理料は、全庁的な算定方法見直しにより、人件費及び物価上昇を反映させたため、昨年度と比べ増加した。 【指定管理料】　R1年度　R2年度　R3年度　R4年度　R5年度　R6年度　R7年度 458,771千円 → 492,699千円 → 495,184千円 → 451,257千円 → 451,776千円→ 507,976千円 → 514,486千円（対前年度＋1.3%） ・利用料収入は、昨年度と比較して増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響が及ぶ以前（R1年度）の約9割まで回復している。 【収入額】　R1年度　R2年度　R3年度　R4年度　R5年度　R6年度　R7年度 総合福祉センター　64,584千円 → 36,855千円 → 33,819千円 → 48,989千円 → 57,131千円 → 56,550千円 → 58,464千円（対前年度＋3.4%）〈対R1年度-9.5%〉 男女共同参画センター　10,452千円 → 6,770千円 → 6,786千円 → 9,415千円 → 9,468千円 → 9,613千円 → 10,218千円（対前年度＋6.3%）〈対R1年度-2.2%〉 小　計　75,036千円 → 43,625千円 → 40,605千円 → 58,404千円 → 66,599千円 → 66,163千円 → 68,682千円（対前年度＋3.8%）〈対R1年度-8.5%〉 人権啓発情報センター　582千円 → 145千円 → 132千円 → 340千円 → 401千円 → 402千円 → 471千円（対前年度＋17.2%）〈対R1年度-19.1%〉 総　計　75,618千円 → 43,770千円 → 40,737千円 → 58,744千円 → 67,000千円 → 66,565千円 → 69,153千円（対前年度＋ 3.9%）〈対R1年度 -8.5%〉 ・プールにおける断熱用カバーの設置による電気使用量の削減や常駐設備員による作業内製化等、効率的な施設運営に努めているが、昨今の物価高騰の影響等により、管理運営費は昨年度よりも増加となった。 R1年度　R2年度　R3年度　R4年度　R5年度　R6年度　R7年度 【管理運営費】　508,799千円 → 506,820千円 → 511,319千円 → 553,126千円 → 535,987千円 → 578,740千円 → 589,247千円（対前年度＋1.8%） （光熱水費）　90,423千円 → 88,901千円 → 97,682千円 → 120,297千円 → 96,083千円 → 106,077千円 → 110,496千円（対前年度＋4.2%）※管理運営費の内数

④職員確保方策及び 健全な財政基盤	・業務内容に応じた専門技術職員や業務責任者の配置を行い、施設運営に当たって必要な各種研修を実施する。 ・収支計画に基づいて経営を行い、健全な財務体質を維持する。	・電気主任技術者や健康運動指導士等、業務内容に応じた専門技術職員等を確保するとともに、施設整備の維持管理業務及び施設利用業務の責任者を定め、適切な施設管理運営に努めた。 ・施設の運営管理に係る研修の受講、人権問題研修への参加など、概ね計画どおり実施した。 ・収支計画に基づいた経営を行い、健全な財務体質を維持している。
⑤施設管理上の個別事項	・クローバープラザ全体の施設の維持保守を行うに当たって必要な資格を有した職員の配置を行い、設備等の保守点検については信頼できる専門の業者に委託する。 ・安全管理を徹底し、災害時、緊急時の対応体制を確保する。 ・個人情報保護に的確に対応する。	・電気主任技術者資格を有する職員等、必要な資格者を配置した。また、設備等の保守点検については、実績があり、信頼できる専門の業者に委託するなど、適切・安全な施設運営に努めた。 ・常駐警備員による管内巡視を徹底するとともに、施設利用者等の安全確保や被害の軽減を図るための危機管理マニュアルを整備し、全職員に周知している。 ・クローバープラザ消防計画に基づく自衛消防組織を整備し、緊急時の即応体制を確保するとともに緊急時対応訓練を実施した。 ・個人情報管理マニュアル等に沿って、個人情報を適切に管理している。

②点検結果

□ A＋ （提案内容を上回った） ○ A （提案内容をやや上回った） □ B （概ね提案内容どおり） □ C （提案内容をやや下回った） □ D （提案内容を下回った）	【総合コメント】 自主事業イベントの拡充や利用者サービスの向上に取り組み、来館者数及び利用料収入は、昨年度と比較して増加しており、目標値を上回った。 また、積極的な広報活動により、施設利用の促進を図るとともに、障がい者の就労支援を行っている法人等との連携を継続して実施し、まごころ製品やパン等の販売の機会を提供することで、障がい者の就労支援及び施設利用者へのサービスの向上に努めた。 このほか、２つのライトアップイベントの継続実施や、福岡県障がい者スポーツ大会（サウンドテーブルテニス、ボッチャ、アーチェリー）会場として運営に協力する等、「福祉」「人権」「男女共同参画」の拠点として、関係機関・団体と連携して事業を展開した。 以上のとおり、施設の設置目的に沿って、積極的な運営が行われており、一定の実績をあげている。